

参加費
無料

普通って何？ ただ？

ともに考えてみませんか、
発達と教育について。

極端に「普通」でいようとするので、

「自分らしく生きること」を置き去りにしていないでしょうか。

いわゆる発達障害の特性は「自分らしさを大切にすること」とも考えられます。

本講座では、発達障害ということばに関して、障害であるかどうかという線を

ひくことにこだわるのではなく、「発達障害を病であるとするならば、

極端な普通もまた病である」という視点で、見つめ直してみませんか。

また、高山市で発達障害に向き合う医療者の取り組みについてご紹介します。

2024.10.12 SAT
10:00-12:30

会場 飛騨・世界生活文化センター ミニシアター

第一部

一 基調講演

「普通という異常」の視点から、見つめ直す

講師 兼本浩祐先生（愛知医科大学名誉教授 精神科医）

第二部

一 パネルディスカッション

ことば、発達、教育、医療にかかわる私たちの取り組み

講師 今福輪太郎先生・川上ちひろ先生（岐阜大学医学教育開発研究センター）

田宮久史先生（久美愛厚生病院リハビリテーション科）

山岸篤至先生（高山赤十字病院小児科）

指定発言 加藤秀明先生（須田病院病院長）

基調講演講師



兼本 浩祐 先生

愛知医科大学名誉教授。精神科医。島根県生まれ。京都大学卒業。ベルリン自由大学神経科外人助手、国立療養所宇多野病院関西てんかんセンター、愛知医科大学精神科学講座教授を経て現在も精神科医として活躍中。著書多数。

お申込み

参加費：無料

先着100名

右記のWEBページから
お申し込みください。



主催：岐阜大学地域共創型飛騨高山医療者教育学講座 共催：高山市役所
司会：鷹羽律紀・高橋美裕希（岐阜大学地域共創型飛騨高山医療者教育学講座）

高山市民のみならず、本講座に関心を持つ方、是非ご参加ください